

徳島大学研究クラスター（1703015）主催

特別講演会

（大学院講義「創薬実践特論」を兼ねる）

北海道大学大学院薬学研究院・名誉教授

小林 淳一 先生

演題：「創薬資源としての生物活性天然分子の探索と開発」

日時：2017年1月16日（火）16：00～17：30

場所：薬学部 第1講義室

～天然から創薬資源を見つけ出す！～

小林先生は天然物化学分野の第一人者として世界的に著名な先生です。これまで30数年にわたり、沖縄産の海洋生物（海綿、ホヤ、など）、海洋微生物（渦鞭毛藻、など）、陸上の植物（ユズリハ、ヒカゲノカズラ、など）、陸上微生物（放線菌など）から、数千を超える新規生物活性天然物質（アルカロイド、マクロライド、ポリケタイド、テルペノイド、など）を単離、構造決定してきました。これらの化合物の中には、新しい医薬品のリード化合物、あるいは生体機能解明のためのバイオプローブ（研究用試薬）として期待されるものが数多く含まれています。それらの中から代表的な研究例を今回ご紹介いただけることになりました。教員・大学院生・学部生の多数のご来聴を歓迎致します。なお、本講演会は創薬実践特論を兼ねます。

【連絡先・問い合わせ】

徳島大学大学院薬科学教育部 附属医薬創製教育研究センター

有機合成薬学分野 難波康祐

namba@tokushima-u.ac.jp

TEL:088-633-7293（内線 6300）